

誰だつて当事者になる、今だからこそ。

自分らしさと、生きる。

12月4日～10日

人権週間

昭和23年（1948年）12月10日。「世界人権宣言」が国際連合の総会において採択されました。それを記念して、12月10日は「人権デー」と定められ、日本では、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」として、人権の意義について広める活動が行われています。



すべての人間は、生まれながらにして自由であり、
かつ、尊厳と権利とについて平等である——

「人権」について考える。

世界人権宣言の第1条には

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」

とあります。

人権とは、

「その人がその人らしく幸せに

生きるための権利」

「誰でもあたりまえに持っている

侵してはならない権利」

です。

人権が大切にされ、差別のない社会をつくっていくためには、自分の人権だけではなく、他の人の人権についても正しく理解し、人権をお互いに大切にしようことが求められています。

あなたがあなたらしく生きていくために、それぞれの違いを認め合い、いろんな価値観を受け入れられるまちをつくるために、まずは、小さな一歩から。

みんなが心から暮らしやすい出雲市を、今こそ。



多様な性のあり方を知る

身近に性的少数者がいないというのは、
私たちが気づいていないだけかも…

からだの性(性的特徴)

生物学的な性。身体的な特徴によって、
ある程度客観的に判断できます。

こころの性(性自認)

自分が認識する性。自分がどの性別で
あるか又はないかということについての
内面的・個人的な認識を言います。

好きになる性(性的指向)

恋愛感情などの関心・興味がどの性に
向いているかで決まる性です。

表現する性(性表現)

服装、しぐさ、言葉づかいなどで表され
る性のことです。



「LGBT(エルジービィティー)」という言葉を聞いたことがありますか？
「LGBT」は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を組み合わせた言葉です。性的マイノリティ(少数者)の総称としても使われますが、LGBT以外にも性のあり方はさまざまです。

また、最近では、「SOGI(ソジ、ソギ)」という言葉が使われるようになりました。

これは、性の要素である性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)＝自分自身が認識している自分の性(こころの性)の頭文字を組み合わせた言葉で、すべての人の多様な性的指向や性自認のあり方が保障されるべきという考えに基づいています。

エルジービィティー

LGBT

レズビアン
Lesbian

女性の同性愛者

ゲイ
Gay

男性の同性愛者

バイセクシュアル
Bisexual

両性愛者

トランスジェンダー
Transgender

からだの性とこころの性が一致しないため、違和感を持つ人

LGBT以外にも男女
どちらにも恋愛感情
を抱かない人や、自分
自身の性を決められ
ない・分からない人
など、さまざまな人
たちがいます。

性的マイノリティ(少数者)は、国内に5～10%いるといわれていますが、周りの人の無理解や偏見により、当事者が一人で悩みを抱え、問題が深刻になってしまふこともあります。

一人一人に個性があるように、性のあり方は人それぞれ違い、男性や女性の2つの性だけでなく、はつきりと分けられるものでもありません。

誰もがありのままに、自分らしく生き生きと暮らせるまちをめざして、多様な性のあり方について、まず「知る」ことから始めてみませんか。

第34回隣保館まつり 人権標語特選作品

思い込み
学び正そう
子とともに

大人の部

助けてと
声にならない
声もある

中学生の部

うそ・うわさ
振り回されない
意志をもつ

小学生
高学年の部

きめたんだ
わるい事には
ながされない

小学生
中学年の部

それはだめ
はつきりいうのも
友だちだ

小学生
低学年の部

一人で悩まず
ご相談ください。

相談は無料です。
秘密を守ります。

みんなの人権110番(受付時間:平日午前8:30～午後5:15)

全国共通ナビダイヤル ☎0570-003-110

インターネット人権相談(受付時間:24時間)

<https://www.jinken.go.jp/>

